

2025年度 日本工学院八王子専門学校											
柔道整復科											
生理学 5											
対象	3年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	塚田愛			実務 経験	無	職種					
授業概要											
生理学を統括し理解を深めます。											
到達目標											
生理学は健康や病気を理解するために欠かせない基礎的の学問である。生理学が専門的に扱うのは、神経生理学や筋肉生理学のほか呼吸・消化・循環・排出・生殖などの分野である。将来、外傷・障害の治療に当たる柔道整復師を目指す学生にとっては必要不可欠からざる知識である。この基本的な生理学の知識を習得することを到達目標とする。											
授業方法											
教科書を中心に授業を行う。まず、人体を構成する各要素に分解してその個々の機能を追求し、さらに、その機能がどのようなしくみ（機序）で発現しているかを探る。そして、最終的にはそれらを総合して、人体全体としての機能やその発現機序を考える。											
成績評価方法											
試験と課題を総合的に評価する。											
履修上の注意											
国民の健康に寄与する医療人の育成であることを重視する。全授業の出席を原則とする。正当な理由なき欠席・遅刻・早退は認めない。また、授業中の態度（私語・飲食・居眠り）には厳しく対応する。常に医療現場にて患者に適切な応対ができるマナーを身につけるような心掛けを求める。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
教科書は「生理学」を持参する。その項目ごとに資料を配布する。											
回数	授業計画										
第1回	血液①										
第2回	血液②										
第3回	血液③										

## 柔道整復科

## 生理学 5

第4回	血液④
第5回	高齢者の生理学的特徴・変化①
第6回	高齢者の生理学的特徴・変化②
第7回	高齢者の生理学的特徴・変化③
第8回	前半振り返り
第9回	高齢者の生理学的特徴・変化④
第10回	発育と発達および競技者の生理学的特徴・変化①
第11回	発育と発達および競技者の生理学的特徴・変化②
第12回	発育と発達および競技者の生理学的特徴・変化③
第13回	発育と発達および競技者の生理学的特徴・変化④
第14回	後半振り返り
第15回	まとめ